

事前評価書

- 1 事業名 畑地帯総合土地改良事業
地区名 舞木地区

2 事業概要

- (1)位置 豊田市
(2)規模・内容 用水路工L=14.7km 揚水機場1か所 道路舗装工L=4.3km
(3)予定期間 平成20年度 ~ 平成25年度
(4)総事業費 525,000 千円

3 必要性

本地区は県内でも有数の果樹地域で営農意欲も高い地域であるが、近年、用水施設の老朽化等により、漏水が多発しており、また、かんがい時間等の変化に伴い用水量不足が生じ、農業経営に多大な障害が生じている。また、未舗装の農道においては農作物の荷痛み等により営農に多大な支障を来している。このため、用水路、農道の整備を行うことにより、担い手農家のより一層の規模拡大と農業経営安定化を図ることを目的とする。

4 事業効果

(1) 費用対効果(B/C)の総括

区分	数 値	算 式	説 明
基準年度	H19	—	
総事業費	525,000千円	①	
事業費	525,000千円	—	
関連事業費		—	
年総効果額	41,229千円/年	②	内訳は(2)表
廃用損失額	6,392千円	③	
総合耐用年数	26年	④	評価期間(年数)
還元率× (1+建設利息率)	0.0646	⑤	T=5
妥当投資額	631,828千円	⑥=②÷⑤-③	基準年における総便益(B)
投資効率	1.20	⑦=⑥÷①	費用対効果(B/C)

(2) 年総効果額の総括

(単位:千円)

効果項目	年 総 効 果 額	説 明
農業生産向上効果	22,905	
作物生産効果	20,261	
品質向上効果	2,644	
農業経営向上効果	2,748	
営農経費節減効果	—	
維持管理費節減効果	1,009	
営農に係る走行経費節減効果	1,739	
生産基盤保全効果	15,576	
更新効果	15,576	
計	41,229	
廃用損失額	6,392	

5 事業をめぐる社会情勢

本地域は、比較的なだらかな丘陵地帯であり、恵まれた気象条件のもと、梨・柿・桃を主体とした果樹農業地帯を形成している。

しかし、高齢化、後継者不足といった近年の農業をとりまく環境は果樹においても非常に厳しく、農業経営の合理化、担い手の支援を図ることが急務となっている。

本地区においては、担い手農家による一層の規模拡大と農業経営の安定化を図るために行う用水路、農道の整備などの農業生産基盤の整備に対する地元の期待は大きい。

6 その他特記事項

特になし